

## Mariane Hedegaard , Activity theory and history teaching, Chapter 17

川端千晶

関西大学大学院総合情報学研究科社会情報学専攻

<あらまし>

デンマークの総合学校4年生1クラスを対象に2年間にわたって、歴史の授業に活動理論の手法を用いて実践研究を行った。その事例の報告を行う。

### ●Introduction

History teaching に対する活動理論的アプローチについて

1. 分析のためのツールとしての概念モデル開発  
：歴史的知識の概念関係と公式化、モデル化する。
2. 時間の流れの概念化、歴史的に起こった事柄の周期
3. 歴史と順序だてる力を身につける。；歴史的事柄の解釈、類推、批判的評価
4. 今日の社会を分析するにあたって、歴史関係の概念の利用

### 歴史教育の目的の変遷：

1814年頃 国民的なアイデンティティとモラル

1950年後半 目的とする知識を相手に伝える

1980年代 国民的な人格の形成

### 学校教育の務め：

年代記に基づいた科学的な歴史の発見物を教える

OR

歴史家のようにテーマに焦点をあてるのか

### ●Activity-theoretical approach to history teaching

#### 歴史を教える目的：

過去と現在の社会の状態を理解し、それを分析できる手法 (tool)を得ること

#### 筆者の知見：

- ・ 現在の生活状況と異なる時代における社会特質の間のつながりへの理解を促進
- ・ どのように自分の生活状況や社会が発展してきたかに対する洞察力を得る
- ・ 生活環境と異なった人々への理解の促進

さらに、基本概念となる包括的なモデルを出し、社会を分析する手立てとして利用を提案

- ・歴史教育における課題： 教えようとするテーマに何の関係があるかを選ぶことである。
- ・歴史的に順序に基づくテーマに関する歴史的物語の理解なども重要になる。
- ・歴史的な知識は、対象や事実が解釈されてこそあらわれる。

## ●A teaching experiment

実験の目的：理論的知識（先述した）による生徒の歴史への考え方を再構築させ、理論的な考え方は経験的な知識に従属するという変化をみること。

対象学生：19人（デンマーク総合学校）1クラス

実験期間：毎週3時間（学校の4、5年生までの2年間）

- ・生物学と地理学をベースに歴史の統合を行う。（カリキュラムは一連の問題に沿う）  
動物の進化論→人間の起源→社会の歴史的变化

最初は、その活動は概念に基づいた経験的なものを供給する。

（博物館・映像的なコンテンツなどを探索し学ぶ。教員は問題群に生徒がむかっていくよう仕向けていく。）

- ・社会生活と自然の間の繋がりとしての道具 (tool)の製造過程 (tool Production)と道具の利用

Kung people、鉄器時代の人々

この経験的な教授活動には、問題を明確にすること、研究方法の練習、モデル化、作業、モデルの拡張化、評価があげられる。

## ●Development of conceptual methods

- ・歴史の教授には、子どもたちの自然(今)と社会状況の間のつながりを生みだすことにある。

ここでは、テーマとして、自然と社会の統合をあげる → 動物の進化モデルを出す。

（モデルの目的：教員が生徒を導くような形で、問題を統合していくこと）

生徒は、作業や活動を通じて、自分たちのモデルを形成していった。（17.2b）

↓

モデルの中の概念により問題が分別されていく

先生は問題を提示し、作業を通じて、モデルの概念的な関係性を述べていく。生徒は、写真とみて議論をしたり、種類別に分けていたりする。

一連の写真からは、異なった社会のエピソードが現われる。エピソードはテーマに焦点をあてており、モデルの概念とつながりをもっている。(例：農業と大工に利用する道具)

### ● Historical timeline and historical periodization

最初の年：先史 (石器時代から始まって viking age まで)

2年目：歴史事項 (中期から、産業革命まで)

時代が異なるときは、モデルの関係性の違いに焦点をあてる。(道具の利用法や労働力や規則の違いなど)

### ● Skills in historical methods

実験の目的のひとつは、科学的な方法を利用し子どもたちの力を高めていくことにあった。以下のステップで実施した。

- 1、調査項目の明確化
- 2、トピックについて何を知りたいのか、何を知らないのか
- 3、どのようにモデル内の知っていることと知らないことに関係していくか
- 4、モデルの探検していくために何を利用するか
- 5、どのように調査の問題に関わり探究の結果をだすのか

### ● Use of conceptual relations of history to analyze today's society

- 6、7年生になると異なるテーマでも、進化のモデルと社会の歴史的变化のモデルを利用 (漁業や環境問題や漁師の人の住む地域の地理的特徴などの関係性)

### ● Conclusion

- ・基本的な歴史的概念の関係性のモデル化
- ・歴史の教授におけるメインとなる活動理論の貢献は、歴史と未来と過去の関係性をつなぐための tool とすることにある。